

平成30年度（2018年度）学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校 全日制

学校教育目標	重点目標
<p>広い視野とやさしく豊かな心を持ち、真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人間を育成する。</p> <p>（教育方針）</p> <p>①自他の敬愛と協力を重んじ、民主的な社会の形成者たるにふさわしい豊かな人間性を養う。</p> <p>②自主・自立の精神を養い、主体的にして責任ある行動のとれる人間を育てる。</p> <p>③学習及び諸活動における真摯・勤勉の気風と切磋琢磨の精神を重んじ、個々の能力の伸長を図る。</p> <p>④多様な学習によって、自らの未来を切り拓く力と創造性豊かな個性をはぐむ。</p> <p>⑤故郷の社会・文化を大切にすることを培い、地域社会の発展に寄与する人間を育てる。</p> <p>⑥木曾の豊かな自然を愛し、地球環境の未来を考える視野を養う。</p>	<p>①いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>②あらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、生徒の能力や個性を伸ばすことで、進路希望の実現を図る。</p> <p>③生徒会・部活動などの諸活動を積極的に支援し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。</p> <p>④地域社会との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑤「夢に挑戦する学び」、「高大接続改革」への対応を進める。</p>

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分

自己評価		学校評議員評価	
学習指導	評価	評価	意見・感想
<p>授業内容の充実</p> <p>【成果と課題】 生徒の授業への評価はおおむね良好である。電子黒板が全HRに導入されICTを活用した授業が増えた。ICT支援員の訪問も定期的に受け教員のスキルも上がっている。Classiを用いて定期考査の振り返りをさせることができた。</p> <p>【改善策・向上策】 新学習指導要領の実施に向け、学びが主体的・対話的・系統的な学びへと移行しつつある。それらに対応するための授業の在り方を考え実施する必要がある。</p>	A	A	<p>○授業参観をさせていただいた折、猛暑の中生徒は一生懸命授業に取り組んでいました。先生方の指導も生徒に寄り添っていてよいと思いました。</p> <p>○全HRに導入された電子黒板により、ICTを活用した授業での効果が成果として出るようにお願いしたい。</p> <p>○前向き、主体的に学んでいる。</p> <p>○課題研究や作品制作も主体的、協同的な特色ある学びであると感じています。誇りにして大いにアピールしたいと思います。</p>
<p>家庭学習の習慣</p> <p>【成果と課題】 スマホなどの影響から家庭学習時間が減っている。今後もHRや授業で家庭学習の重要性を伝えていく必要がある。</p> <p>【改善策・向上策】 クラブ活動や生徒会活動との両立の必要性がある。スマートフォン等の利用についてもHRや授業で生徒に考えさせていきたい。</p>	B	B	<p>○本人だけでなく、保護者の意識を変える必要がある。</p> <p>○生徒と家庭の連絡手段としては有効であるが、ネット社会には危険も潜んでおり学校、家庭の両面から指導していく。</p> <p>○生徒への指導は一番大事ですが、保護者・家庭への指導も必要と思います。基本的な生活習慣を家庭で実行させたいものです。</p> <p>○スマホに対する問題は、学校教育の姿勢により改善されていくと考えます。スマホの功罪をきちんと教育することも重要である。</p> <p>○スマホ・ゲーム等に時間をとられてしまうのは、全国共通の課題である。</p>
<p>補習内容の充実</p> <p>【成果と課題】 土曜補習・休業中の補習・放課後の補習などを行うことができた。</p> <p>【改善策・向上策】 次年度も授業充実を図り、クラブ活動や生徒会活動と学業のどちらも充実したものとなるよう指導を行う。その成果を持って進路実現に向けて活動ができるように指導する。</p>	A	A	<p>○授業時間以外にも時間を取って補習することは、先生方に負担がかかると思いますが、それを実施していることはありがたいことです。</p> <p>○先生達の取り組みがより達成できる上で、働き方改革を踏まえながら指導にあたってほしいと思います。</p> <p>○補習の時間が設定されていることは貴重である。</p>
<p>各種資格検定への取り組み</p> <p>【成果と課題】 今年も生徒が熱心に資格取得に取り組めた。</p> <p>【改善策・向上策】 資格取得のための学習の充実を図っていきたい。</p>	A	A	<p>○先の見えない時代の中、資格取得はキャリアアップになると共に目標を持って取り組めると思う。</p> <p>○先日の課題研究発表の中で、農業鑑定競技に挑戦した発表がありました。その姿勢が、多くの生徒にあるものと感じました。</p> <p>○社会に出たときにこのような取り組みが成果として表れるため、今後も充実して行ってほしい。</p> <p>○入学前から目標にしている生徒が多い。</p>

進路指導	評価	評価	意見・感想
進路目標の明確化 【成果と課題】 進路講演等の機会を通じて全体として進路目標の明確化は早まってきている。進路が明確にならない生徒に対しては、個人面談等を通じてより有効な働きかけや進路・学校・職業に関する情報を提供することが必要とされるだろう。 【改善策・向上策】 今後もキャリア教育を常に見直し、面談を計画的に行う等して生徒が意欲的に目標実現に向けて学校生活を送れるように具体的な指導を行っていきたい。	A	A	○生徒が自分の将来を決定していくには、進学か就職かにより大きく異なる。進学についてはやりたい職業があればその学部を選択させられるが、就職については企業マッチングの機会も多くして生徒が判断できるようにして欲しい。 ○自分の可能性と特性と希望に合った進路を選んでいる。
具体的な進路指導 【成果と課題】 3年間を見通した進路指導は概ね確立できており、各学年学科の工夫もあり進路指導行事は成果を上げている。今年度は新たに、松本への進学相談会に参加し進路意識の向上が見られる。 【改善策・向上策】 3年生の指導に偏りがちだが、自立した進路選択と進路実現に向けて、1、2年次の進路指導を重視し、充実させたい。 3年次、進学から就職に進路変更した生徒への細やかな指導は課題である。	A	A	○当然1・2年次の進路指導が重要であり、あきらめない強い心を養ってほしい。 ○見直しをもち力を入れて進路指導をされている。
進路の実現 【成果と課題】 3年生になると生徒は進路実現に向けてよく努力するが、1・2年次の基礎学力の定着がまだ不十分である。2年次の進路希望と実際の進路状況を比較すると、特に国公立大学で希望が叶っていない状況が見られる。私立においても都市部を中心に難化しているため早い段階での進路指導が必要である。 【改善策・向上策】 1・2年次から進路に関わる指導を加え進路意識を高めるとともに、ポートフォリオなどを利用した計画的な学校外での学習習慣の確立と定着を促したい。	B	B	○基礎学力の定着は、小中高を通して培うべきと思う。また、木曽地域の最大の課題と考えられ、地域全体で考えていきたい。 ○各学年、各クラスとも進学就職の目標の違いはあっても、努力されている姿を見ております。先生方のご尽力にも感謝しております。 ○小中学校教育での歪みが高校での伸びに影響してしまう。よって、基礎学力強化については小中との連携を深めながら、木曽の教育の問題点を共有して改善して欲しい。 ○さらに実績を上げられるとよい。

生徒指導	評価	評価	意見・感想
生徒の人権意識・自己指導力の育成 【成果と課題】 10月を人権月間とし、いじめ防止基本方針の周知を含め、考えさせることができた。また、多様性について考えさせるワークショップを行った。 【改善策・向上策】 年間を通して計画的に人権教育を進めていきたい。生徒に考えさせ自ら行動に移せるような場面を、より多く設定していきたい。	B	B	○いじめ等については保護者も敏感になっていますので、今後も取り組みをお願いします。 ○人権月間を設けて指導する取り組み、大切だと思います。それ以上に日常生活の中での言動をとらえて、即座に指導することも大切と考えます。心掛けていると思いますが・・・。 ○人権意識の育成については、それぞれの生徒の意識改革を促していく点では重要である。もっと工夫した取り組みを期待したい。 ○思いやりの心が育っている。やさしい子が多い。 ○国や県が示すいじめのとらえが以前より広がってきており、より相手の気持ちに立った言動を意識していく方向です。学校全体で研修を深めて、人権感覚をみがきたい。先生方の発する言葉や振る舞いは大切だと思います。
社会性の涵養 【成果と課題】 生徒が地域貢献できるよう支援することができた。教員の支援がなくても社会と関わりを持つようとする生徒、社会の一員であるという自覚が持てる生徒を育成していきたい。 【改善策・向上策】 モラル、マナーの向上、社会性、協調性の涵養を目指して、あらゆる場面で育成の機会と捉え、取り組んでいきたい。	B	A	○地域のイベントへの参加等、地域の皆さんとの交流できる機会をより多く持てるようご配慮ください。 ○森林環境科、インテリア科の課題研究では、地域に出て体験し、地域を活性化しようとする学習が多く感心しました。 ○「地域貢献とは何か」生徒達自身がこのことについてロジカルに議論し、投票権も得られる18才になった時も対応できる能力を養って欲しい。 ○モラル・マナーは、よく身につけている生徒が多い。
カウンセリングの充実 【成果と課題】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等外部機関と連携し、相談に対応することができた。また、学校生活適応感に関するアンケート（アセス）を実施し、学年や授業担当の担当者を中心に情報を共有するとともに、その結果から問題を抱える生徒をカウンセリングにつなぐことができた。 【改善策・向上策】 相談窓口があることを生徒・保護者に周知すると共に、職員研修なども定期的に行い認識を深め、多様化する生徒への対応がきめ細かにできるようにする。また個人で抱え込むのでは無くチームで迅速に対応できるような連絡を取り合える環境を整える。	A	A	○最近、個別に相談・指導を必要とする子どもたちが増加しています。そういう生徒にどう対応するかは、今後大切になってくると感じています。高校進学が当たり前になってきている今、大きな課題です。 ○問題を抱える生徒をいかに救えるか、きわめて重要な取り組みであるため、迅速に学校職員が共有して対応して欲しい。 ○チームで連携し丁寧に対応していただいている。

特別活動	評価	評価	意見・感想
自主活動の充実と生徒の自立 【成果と課題】 役員と生徒間での情報共有の場を設けるための青峰ポストの導入で、生徒からの声を聞き、学校生活をよりよくするための行動ができた。	A	A	○生徒会が自主的に行われているようでよいと思います。「青峰ポスト」はよいアイデアですね。 ○ポスト導入による生徒の生の声が学校生活の改善につながることは評価できる。 ○校舎内外の清掃がさらに進むとよい。
【改善策・向上策】 生徒がよりよい学校生活を送れるように自分たちで考え・行動するために、役員による連絡会など情報共有の機会を多くし、全校へ発信させる活動を模索していきたい。			
地域を視野に入れた活動 【成果と課題】 着陸祭や地域での行事、ボランティア活動などを通して、生徒が地域を見つめ直すきっかけを作ることができた。	B	A	○地域のイベントに積極的にかかわっていてよいと思う。 ○着陸祭では生徒たちの躍動する姿を見て感動しました。 ○生徒が地域に出て活動してよいと思います。 ○地域を視野に入れた活動については、町民の高校に対する見方を良い方向に向ける点で重要なことである。今後もっと積極的に取り組んでほしい。
【改善策・向上策】 地域の行政やボランティアと連携しながら様々な地域活動に、積極的に関わっていけるような取り組みを続けて行っていきたい。			

全般	評価	評価	意見・感想
P T A活動の充実・家庭との連携 【成果と課題】 P T A総会や地区懇談会、各委員会などの諸活動を年間計画に従って実施し、保護者や地域に学校の様子を伝えることができた。	A	A	○高校におけるP T A参加はなかなか難しい。参加意識を高めるためには、今の直面する問題について議論する機会を定期的に持つてほしい。 ○連携が取れている。
【改善策・向上策】 来年度もP T A活動を通して学校・家庭・地域が連携し、課題を共有し、協力できる体制を作っていきたい。			
情報発信 【成果と課題】 ホームページのリニューアルを行うことで、見やすくわかりやすいホームページ運営を行うことができた。 ホームページの更新頻度が少なく、さらなる広報の充実が必要である。 年8回スクールマガジンを発行し、学校の行事や生徒の様々な活動の様子を中学生や地域にアピールすることができた。 学校案内パンフレットは、構成の工夫および内容の充実をはかり、大変見やすくなった。	A	A	○スクールマガジンは、読みやすく工夫されている。 ○スクールマガジンの発行は極めて素晴らしい取り組みである。より一層充実した内容を期待したい。 ○見やすいホームページになっている。
【改善策・向上策】 さらにホームページ更新の頻度を上げ、充実した広報活動がはかれるように努めたい。ホームページにあげる事柄について積極的に情報共有できるように努めたい。			
地域との連携・開かれた学校づくり 【成果と課題】 課題研究発表会や専門科展（森林環境科・インテリア科）において、生徒の学習内容及び成果を地域の方々に広く公開することができた。 体験入学は昨年度並みの中学生の参加があり、全学科での体験授業、全体会およびクラブ見学等、充実した内容であった。また、郡外の中学生の参加も多かった。 4月と9月に実施している公開授業の参加者数は、昨年同様伸び悩んだ。	A	A	○課題研究では、地域の講師を活用し、中身のレベルも高いと思う。 ○高校における公開授業の参加者数の大小は、余り気にすることはない。いかに公開された内容を多くの方々に伝えることを優先していくことの方が重要と考える。 ○参観されることを生徒が嫌がっていない。歓迎の雰囲気、笑顔がうれしい。 ○中学校との連携がさらにできるとよいと思います。（互いに授業を参観し合う、教科每一緒の研究、個々の生徒についての情報交換等）日常的に中高の先生方が交流できればと思います。
【改善策・向上策】 ホームページ等を通して、さらなる広報活動の充実を努めたい。 9月実施の公開授業は、中学生が参加しやすい時期の検討をしたい			

<p>生徒・職員の健康管理</p> <p>【成果と課題】 (生徒)大きなトラブルなく健康診断を行うことができた。受診勧告をしても全員が受診に繋がる訳ではないので、受診率の向上を引き続き課題としていきたい。 (職員)早い時期から人間ドック受診の呼びかけを行い、早めに予約を入れてもらい受診率が上がるようにした。ストレスチェック、超過勤務時間調査を行い、声かけや面談などを実施した。しかし、管理医の先生から本校職員は自分の健康についてあまり深く考えていないのではと指摘される場面もあったので、職員の意識を高めることを今後の課題としたい。</p> <p>【改善策・向上策】 生徒とその保護者、また職員の意識を高める為、校内向け、保護者向けの保健だよりの内容を充実させる。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<p>○健康であることで学校生活が充実すると思いますので、健康管理には充分ご配慮願います。 ○職員のストレスチェックは、上司となる校長・教頭の責務は大きいと思う。生徒に対して直接かかわる問題のため健全な心を目指してほしい。</p>
<p>連絡体制の完備</p> <p>【成果と課題】 一斉メールにより、積極的に情報を各家庭に伝えることができた。</p> <p>【改善策・向上策】 一斉メールの登録率の向上に努め、未登録の生徒及び保護者、職員には続けて声かけを行う必要がある。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>○一斉メールの登録率の向上が情報の共有につながるため、一層の努力を期待します。</p>